



3\_同社の主力製品である「リチウムイオン電池」。携帯電話やノートパソコン、デジタルカメラなど生活に欠かせない多くの場面で使用されている

4・5\_白石工場の社員は毎年のように市民綱引き大会に参加。また、「消防団協力事業所」として認定されている同社。地域の発展のために、地域に根付いた企業として、その社会貢献度は計り知れない

【新白石工場の概要】

- ・所在地 白石市東町四丁目1-14
- ・工場規模 地上3階 震度7耐震
- ・敷地面積 10,134.15㎡
- ・建築面積 3,500.78㎡
- ・延べ床面積 7,519.83㎡
- ・主な特長  
パナソニック製20kwソーラーパネル、パナソニック製蓄電システム、全館LED照明、LED看板による省エネ設計など

1\_新白石工場の外観。すっきりとした外観とは裏腹に、内部は品質管理対策をはじめ、地震や火災などの対策、社員の働きやすさなどを考慮して最新の技術が組み込まれている

2\_藤川勝会長(中央)と藤川毅社長(右端)、パナソニック・エナジー社の伊藤正人社長(左から3番目)をはじめ関係者で新工場の完成を祝い鏡開き。藤川勝会長と藤川毅社長の友人である歌手・小林旭さん(左から2番目)も駆け付けた



クリーンエネルギー製品への挑戦！ 一丸となって新工場に魂を吹き込む！



代表取締役会長  
ふじかわ まさる  
藤川 勝 さん

新工場建設に携わった関係者の皆さんに厚く御礼を申し上げます。昨年の震災で白石工場も多少の被害があり、工場を建て替えることで従業員を守ることもひとつの仕事と考えました。「箱」は作りましたが、まだまだ「中身」は全くありません。これから魂を入れて、皆さんとともに工場を育て、頑張っていきたいと思っております。



代表取締役社長  
ふじかわ たけし  
藤川 毅 さん

関係者の皆さんの熱い情熱で完成した新工場。海外工場を含めたグローバルベースで、バッテリー製品の設計・製造の要になるのがこの白石工場です。皆さんに祝ってもらい、これ以上ない第一歩を踏み出しました。「魂」を入れるために一步一步着実に、社員一同が一丸となってこの工場を有効に活用し、地球に優しい商品を数多く出していくことが、皆さんへの恩返しになると思っています。

この工場が生産された製品が日本はもとより、世界中で広く愛用され、将来にわたりこの白石の地から革新的な高付加価値製品が次々と送り出されること期待される。そして、同社の発展とともに、白石の発展と雇用の創出にも期待がかかる。トリーカードエナジー株式会社白石工場は、白石の地から「日本の力」を世界に発信し、さらなる飛躍を誓う。

の機能も担う。同社は昭和47(1972)年に設立。本年1月で設立40周年を迎えた。また、白石工場は平成4(1992)年に開設。20周年という節目の年を迎えている。当初は三洋電機カドニカの販売代理店として設立された同社。業界の飛躍とともに国内から世界各国に事業を拡大し、自社での設計から開発、生産を手掛ける規模にまで成長した。節目の年を迎えた同社は、環境配慮型製品の重要性和、企業が環境問題に貢献すべき役割を見据え、経営理念を「私たちはクリーンエナジー製品で、地球に優しい未来をつくります」と新たに定めた。今後ますます注目される環境配慮型製品の開発・生産にチャレンジする同社。白石工場は、その核として位置付けられている。

電池パック製造のトリーカードエナジー株式会社(本社・東京都大田区/藤川毅代表取締役社長)が進めてきた白石工場建て替え工事が完了し、4月23日、竣工式が同工場で開催された。式には、藤川勝代表取締役会長と藤川毅代表取締役社長をはじめ、パナソニック・エナジー社の伊藤正人社長など取引先や地元関係者約130人が集まり完成を祝った。

エナジー社の伊藤社長は、「最強のパートナーとして、これからも両者で事業を発展させたい」と祝辞を述べ、風間市長も「この地でますます業績を拡大し、企業として大きく羽ばたくことで、本市の経済活性化はもとより地元雇用の維持・創出に大きく貢献していただきたい」と、新工場完成に期待を寄せた。

昨年2月27日に地鎮祭を行い、いよいよ工事スタートというところで東日本大震災が発

生。白石工場も被害を受けたため着工が5月にずれ、工期の遅れを余儀なくされた。それでも、昨年12月末に建屋が完成。本年1月には新工場での操業をスタートさせ、3月30日にすべての工事が完了した。

新工場では、従来の電池パック製品やストロボなどの光源応用製品の生産能力を2倍に強化している。さらに、震災以降、大きなテーマとなっている電力問題に対応するため、電池事業を柱とする同社の技術を活かし、太陽光発電などの自然エネルギーを利用した「蓄電システム」の開発と生産を大きな柱として展開していく。新工場自体、ソーラーパネルや蓄電システムを設置するなど最新の技術を組み込んだ造りとなっている。白石工場は、大規模災害への対応と地球環境を考慮した「クリーンエナジー製品」の開発・生産拠点として生まれ変わるとともに、海外工場のマザー工場とし

海外工場のマザー工場として設計開発機能を強化  
東北をクリーンエナジー製品の発信拠点へ！

白石の地から「日本の力」を世界に発信！  
トリーカードエナジー株式会社 新白石工場が始動！